

令和3年度 大田原市立親園中学校 グランドデザイン 説明資料

1 背景

(1) 各種法規等

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、県教育振興ビジョン、大田原市教育行政基本方針

(2) 実態解釈

【地域・保護者】… 学校に協力的で、家庭の教育力も比較的高い

【生徒】… まじめで素直な生徒が多いが、自分で考え行動するのは苦手

(3) 学校評価(保護者)の結果

・学校は、学力向上を目指した授業や各種の取り組みをしている。

…肯定的回答86%

・学校は、学校や社会のルールを守るよう指導している。

…肯定的意見98%

・学校は、心身の健康を維持・促進するための取り組みをしている。

…肯定的意見96%

(4) 小中一貫教育・学校運営協議会

【教育目標】根気よく学び、豊かな感性をもった たくましい子ども

2 教育目標・校訓

(1) 教育目標

- ・自ら考え自ら学ぶ生徒
- ・明るくたくましい生徒
- ・思いやりのある生徒

(2) 校訓

- ・根気よく 学び働き 尊敬しあう

3 学校経営方針

(1) 基盤となる考え方

生徒にとっても、教職員にとっても、**「安全・安心」な教育環境の整備**に努め、地域とともにある学校づくりを推進し、**保護者や地域から信頼**される学校を目指す。

【「安全・安心」な教育環境の整備・保護者や地域からの信頼】のポイント

- ・健康・衛生面での万全の体制
- ・危機管理マニュアルの見直しと活用
- ・いじめの早期解決、不登校の改善
- ・学力の向上
- ・チーム学校や組織としての対応
- ・不祥事の撲滅（教育は信頼の上にのみ成り立つ）

(2) 目指す方向性

学校キーワード **「自立・創造 ～三兎を追う～」**

「自立」… 義務教育の最終目的。自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成。

「創造」… GIGA スクール構想の実現や Society 5.0 を見据えた、創造性あふれる人材の育成。心身ともに大きく成長する中学生の時期に、様々なことへ挑戦することで、新たな自分を創りあげることのできる生徒の育成。

「三兎」… **「勉強（教科経営）」、「部活動（部活動経営）」、「学校行事（学級経営）」**のこと。この3つに、生徒が全力で取り組める環境を整える。

① 目指すべき学校・生徒・教職員像

A 目指すべき学校像

- ・生徒も、教職員も、**明るく生き生きとしている学校**
- ・生徒も、教職員も、**もてる力を存分に発揮できる学校**

B 目指すべき生徒像

- ・**「勉強」、「部活動」、「学校行事」に全力で取り組める生徒**
- ・自立した学習ができる生徒（**自立した学習者**）（知）
- ・何事も自発的・主体的に取り組み、他者と共に成長できる生徒（徳）
- ・健康で衛生的な生活を実践できる生徒（体）

C 目指すべき教職員像

- ・豊かな人間性や社会性により、生徒、保護者、地域から**信頼される教職員**
- ・幅広い教養と専門性に基づいて、**生徒を自立させる教職員**
- ・教育的愛情と使命感をもち、**生徒のために努力する教職員**

② 具体的な取組と目標値（◎最重点 ○重点 △努力点 ☆目標値）

A 知育

◎ **学力向上を目指したGIGAスクール構想の着実な実行**

- ・市のGIGAスクール研究校の指定を受け、一人1台タブレットの環境を活用した**授業改善**により**学力向上**を図ると共に、校内の**様々な場面での活用**も推進する。

大田原市ICT活用推進計画

【目標】

ICTの有効活用によって、子どもたちのさらなる学力向上を図る。

【具体目標】

- 1 児童生徒一人一人に合わせた学習を進める。**
- 2 将来の生活や仕事につながる使い方を身に付ける。**
- 3 自分自身を冷静に分析し対策を講じる力（メタ認知力）を育てる。**

- ・**10月19日（火）に公開授業**を行う。
- ・学習指導主任をリーダーとした、「**親中GIGAスクールプロジェクト**」を導入して研究を進める。

○ 新学習指導要領のねらいに沿った**授業改善と評価の実施**

- ・授業が改善なしに、いくらＩＣＴを導入しても、学力向上にはつながらない。
- ・授業は、生徒が「学ぶ意欲を高める」「学ぶ方法を獲得する」場と捉える。
- ・「**学ぶ意欲を高める**」ために、**授業における「問い」の質を上げる。**
- ・「**学ぶ方法を獲得する**」ために、「**少なく教えて豊に学ぶ**」授業を実践する。(インプット：アウトプット＝３：７)

☆ 学校は、学力向上を目指した授業や各種の取組をしている。(保護者)
…肯定的回答 95%以上

B 徳育

○ 学校生活のあらゆる場や機会を捉えた「**自己指導能力**」の育成

- ・ **自己指導能力**…自己受容と自己理解を基盤に、自らの目標を明確化し、
目標達成に向けて自発的、自律的に行動を決断、実行するなどの能力

- ・ 自己指導能力の育成を図る 3 つの留意点

ア **自己存在感を与える**

- ・ 意図的に活躍の場をつくり、取り組む姿勢や活動内容について賞賛する。
- ・ 役割を与えて、貢献する喜びを体験させる。

イ **共感的人間関係を育成する**

- ・ 教職員自らが自己開示して、人間的なふれあいをもつ。
- ・ 受容と許容を混同しない。

ウ **自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助する**

- ・ ルールにかなった選択幅の中で、自他のためになることを自己決定させる。
- ・ 決定したことは必ず守らせる。

△ 「特別の教科道徳」を要とした**道徳教育の充実、**

- ・ 道徳科の授業に、**学年主任と両担任によるローテーション制を導入し、**学年内全生徒を学年スタッフ全員により指導・評価する体制を整える。
- ・ 全ての教育活動をとおして、道徳教育の充実を図る

☆ 学校は、生徒自身で考え行動できるような取組をしている。(保護者)
…肯定的回答 95%以上

C 体育

○ 感染状況に応じた、**親中ライフスタイル（ＣＬＳ）**の実施

- ・ 県内や地域の感染状況を踏まえて、ハンマー&ダンスを行う。
- ・ ＣＬＳに掲載のない場面でも、どのように生活するのが望ましいかを、**自分で考えて適切に行動**できる生徒を育成していく。

- △ 体育科や部活動を通した、活力を生み出す体力づくり
- ・体育科における、基礎的な運動能力の育成と、部活動における心技体の調和の取れた向上を図る。

☆ 学校は、感染症に十分配慮した教育活動を行っている。（保護者）
…肯定的回答 95 %以上

D 教職員

◎ 業務改善と働き方改革の更なる推進

- ・単に在校等時間の縮減ではなく、**生産性を向上**させて、子どもと向き合う時間を確保すると共に、**ワークライフバランス**の推進を図る。

具体的には、

「教材研究・教材作成等の授業準備にかかる時間・労力を削減」

「書類作成や会議等の効率的・効果的な実施」

「遠隔技術の活用による教員研修や各種会議の実施

「ペーパーレス化、スタンプレス化の推進」 等

- ・教務主任をリーダーとした、**「親中スマートプロジェクト」**を導入して改革を進める。

○ 問題行動・不登校における、**迅速で組織的な対応**の徹底

- ・全ての教育活動が、組織で対応することはもちろんであるが、特に問題行動や不登校等においては、迅速で組織的な対応を徹底する。

- ・**悪い情報ほど早く報告する。（バッド・ニュース・ファースト）**

☆ 業務改善が進み、ゆとりある勤務ができ、生徒と向き合う時間が増えた。（教職員） …肯定的回答 95 %以上

E 地域

○ 小中一貫教育とコミュニティスクールの推進

- ・親園中学校区小中一貫教育推進計画に則り、小中一貫教育を進める。
- ・学校運営協議会を活用して、**地域を巻き込んだ活動**に取り組む。

△ 学校行事や授業等における、地域資源の活用

- ・学校行事や授業等において、W i n ・ W i n の関係となるような**地域資源の活用**を試みる。

☆ 学校は、地域の教育力を生かした教育を推進している。（保護者）
…肯定的回答 95 %以上